

大利 弥里

Misato Otoshi



生年月日 1993年6月14日

出身地 埼玉県

T : 161 B : 75 W : 58 H : 86 靴 : 23.5

趣味 映画鑑賞、国際交流、グルメ巡り

特技 人力車曳き、浅草案内、バレエ
チアダンス



最新出演情報

【WEB】 HERO'ZZ 「SNSの理解がなかったところから総フォロワー25万人になった話を深掘ります！」

【WEB】 社長ファイトクラブ

主な出演作

【TV】 NHK Eテレ「ビットワールド」
TBS 特番CM「Veryカープ！祝！カープ優勝V7」
リポーター
テレビ東京「勇者ああああ」
多摩テレビ「たまてばこ」レギュラーリポーター
テレビ東京「東京交差点 ONE MOMENT #285」

【CM】 ニコニコ動画「ハスラー・パロディーたこ焼き編」
ナイキwebCM「JUST DO IT」
Yahoo JAPAN「my things」
PCA「マイナンバー編」
ソフトバンク「CFスーパーフライデー」
バイエル薬品「高血圧の薬」

【舞台】 SP/ACE=project「WORLD」演出：松崎史也
「午前5時47分の時計台」演出：山本タク

【WEB】 HERO'ZZ 「インフルエンサーの壁 人力車」「SNSの理解がなかったところから総フォロワー25万人になった話を深掘ります！」

社長ファイトクラブ

【その他】 WRB20イメージガールキャプテン就任
埼玉県蕨市 一日警察署長
2025年 浅草横丁アンバサダー





2024年10月7日（月）

浅草を守っていきたい！熱い気持ち

大利弥里（偉夫）

~厳しかった研修時代 デビューするために常に意識した事とは？~ 東京屈指の観光地・浅草で人力車を引いている。はじめた頃は、まだまだ女性の偉夫が珍しい時代だった。今では女性の偉夫も増え、リーダー的存在として活躍している！大利がよく足を運ぶのは、浅草七福神の一つ「待乳山聖天」。大利が考える人力車と浅草の理想の関係とは？

東京で影響を受けた場所：『台東区 待乳山聖天』



「浅草の人力車のおかみ」はフォロワー5・4万人 大利弥里さん「お客様の笑顔に全力」

2024/5/13 20:59

鈴木 美帆 ライフ | くらし

X ポスト X 反応 F G D 口 記事を保存

現在のトップニュース

一部自治体、おこめ「競對配らい」反発も一部木暮水相「負担感少ない方法で進めています」

2025/12/21 11:10

検索ワード



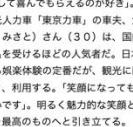
「喜んでもらえることをしたら正解」大利弥里さんは、おもなじの心でみんなを笑顔にする=台東区



トートバッグ



トートバッグ



トートバッグ



トートバッグ オリジナル不織布バッグ

トートバッグ

24時間 1週間

1 2025新語・流行語大賞「優しくて悲しい…」、トップテンに「エッホエッホ」「古吉米」

2 天皇ご一家の新しい愛猫ご紹介、三毛猫の「美海」保護猫を譲り受けられ

3 相次ぐクマ被害、朝いちも犠牲 専門家「つながれた犬を食料と認識する恐れ」

4

タレントから転身

保育士と幼稚園教師の資格を持ち、タレントとして芸能事務所にも所属していた大利さん。「英語を話せるようになりたい」とオーストラリアへ留学したが、新型コロナウイルス禍となり帰国。車夫をしていたり会合での勤めで、東京人力車を展開するライズアップ（東京都台東区）の車夫として、令和2年夏にデビューを果たした。

「女性は珍しくて、自分で4人目くらいだ」という男社会。当時は女性の更衣室がないなど不便があったものの、「男のじゅうきやけないというのは特になかった」という。

約9キロの車体に、客を乗せると250キロほどになる。力士や格のいい外国人男性などでも250キロまでは乗車可能だ。それでも、女性でも「コツをつかめば誰にでもできます」。持ち上がるときなど、での原理を理解するのがポイント。また、ブレーキのついていない人力車は、体全体で操作する。

「1に安全に安全、3、4も安全といふほど、安全運転を大事にしています」と、熟練した今も基本を大切にする。

乗客の顔をあまり見ないようにし、背中で意識して会話をしつつ横顔を見せたり停車中に振り返りたりする。車道を走り、客の命を預かっている意識は忘れない。

多くのファン

大利さんは、インスタグラムのフォロワーが5・4万人と国内外に多くのファンがいる。各SNSで人力車の魅力とともに大利さん自身の人となりも発信し、「ダイレクトメッセージ（SNSの機能）から直接予約てくれる人も多い」。

ライズアップも会社として積極的にSNSを活用。ホームページに車夫の自己紹介コーナーがあり、SNSでは素顔も垣間見られる。大利さんの活躍や働きやすさをSNSで見て車夫になった人も多く、現在同社女性車夫は2人ほど。研修中の女性も多く、まだ増えそうだという。

「日本文化を感じられて乗ってくれる方もいますが、海外の人がタクシーのように使ってくれたり、恋愛相談などお話ししたいという方もいたります」とその目的は多様。なかには定期的に乗りに来る人もいるのだそう。

一瞬を大事に

「お客さまの大切な時間をいたでているので、一瞬一瞬を大事におもてなしをしている」というのが信条。乗車前にどこに行きたいか、どんな時間を過ごしたいのかを聞き、その人に合わせて対応をする。

車夫になって約4年。「最初は運転するだけだと思っていたけれど、お客さまが喜んで見えることをいたら正解」とコミュニケーションをとっていかに満足させるかに全力を尽くすようになった。

思い出に残る一枚を撮れるよう写真の腕を磨き、観光案内だけでなく、自分が実際に食べた行った飲食店を薦めると、リアルな浅草の魅力も伝える。

車夫を長く続ける女性が少ない中、「みんなのお姉さん的な存在」にもなってきた。強くて芯があり、包容力のある「浅草のおかみ」を見習い、「人力車のおかみさんのような存在を目指して頑張りたい」と次の目標を据えている。

自信を持っているのは「ありのままの笑顔」。今日も明るく安全運転で、浅草の街を駆け抜ける。（鈴木美帆）

